

令和2年度 浅間台地域ケアプラザPDCAシート_公表用 (事業計画書、事業報告書、事業実績評価)

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

・ケアプラザの役割をより多くの人に知ってもらい、子どもから高齢者まで利用しやすい身近な地域の活動拠点となるよう取り組んでいきます。
 ・高齢化率も高くなっているため、高齢者が活躍できる場や認知症の方にも安心して暮らせるまちづくりを目指していきます。

今年度の重点的な取組

新規
継続

—具体的な取組内容—

昨年に引き続き、認知症の人にも優しいまちづくりを目指し、多角的視点から課題抽出していきます。(Nカフェ「認知症カフェ」の継続、支えあい勉強会、地域ケア会議、認知症サポーター養成講座の開催。キャラバンメイトエリア勉強会の充実)

顔の見える関係づくりを大切に、相談機能等も含めたケアプラザの広報活動に努めていきます。(広報紙の発行、地域での清掃活動、出前講座等で相談機能の啓発)

地域資源の情報集約と情報提供を行っていきます。(地域資源情報の更新・活用、地域活動一覧表の更新)

地区別計画に連動した、にしろく健康づくり検討会の充実を目指します。(介護予防に資するグループの交流会、にしろく健康づくり検討会の周知、社会参加への情報発信 等)

子どもから高齢者まで一人ひとりの活躍できる場をつくっていきます。(ちよこっとボランティア、にしろく健康測定会、多世代交流、ケアプラザまつりでの発表 など)

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

・昨年に引き続き、認知症の人にも優しいまちづくりを目指し、課題抽出に努めましたが、コロナの影響により認知症カフェやサポーター養成講座など多くの人を集める内容の開催が困難でした。その分、個別の地域ケア会議やキャラバンメイトエリア勉強会などの充実を図り、来年度にむけた課題整理をしました。今後も活動の再開や継続を行い、多角的な視点を得られるよう努めていきます。
 ・地域資源の情報集約は地域アセスメントも兼ねて5職種で連携して取り組みました。情報提供できるようにしています。
 ・にしろく健康づくり検討会の充実を目指しておりましたが、新型コロナウイルスの影響により地域住民との検討会の実施、介護予防に資するグループの交流会等は実施できませんでした。第六地区内の健康づくりが充実していくように出来ることを探してすすめられるように努めました。
 ・広報紙は毎月発行し、ケアプラザの機能の周知や介護予防、介護保険等について情報の提供を行いました。

区からのコメント

新型コロナウイルスの感染拡大が続き、計画していた事業の実施が難しい1年でしたが、その中でも地域資源の情報集約、地域アセスメント、課題抽出に取り組まれた点を評価します。次年度は、これまでに検討できたことを生かし、ICTを活用するなど新しい生活様式に対応した事業展開等を期待しています。また、活動の再開や活動について悩んでいる団体には引き続き、活動の再開に向けて団体の状況に応じたきめ細やかな支援をお願いします。コロナ禍で従来の情報発信が難しい中、広報誌を毎月発行し、ケアプラザの機能の周知や介護予防、介護保険等についての周知に力を入れた点を評価します。引き続き、地域のどなたにとっても親しみやすい関係づくりを期待します。